

(平成19年6月3日)

かごしま検定

第1回かごしまグランドマスター試験

模範解答

問1.

鹿児島県は霧島屋久国立公園と雲仙天草国立公園に含まれている。

1934年に国立公園第一号として霧島が国立公園に指定された。その後、霧島国立公園は1964年に鹿児島湾の一部と屋久島地区を加えて霧島屋久国立公園になった。1993年には、屋久島が世界自然遺産に登録された。霧島は多くの火口湖を持ち、温泉が豊富で幕末には竜馬が湯治のためにお龍とこの地を訪れている。一方、屋久島は、九州で最高峰であり、縄文杉などで代表されるヤクスギが分布する。

(216字)

問2.

「幻の宰相」と呼ばれた維新の実力者。1861年に島津久光の側役となり、28歳で家老に就任し、藩政の中枢を担い、薩長同盟や大政奉還、王政復古など明治維新に尽力した。

特に、薩長同盟の成立においては、薩摩と長州との仲介役となる坂本竜馬のつくった亀山社中に協力し、1866年京都にあった小松の私邸での成立に臨席した。

明治新政府でも外交の要職に就いたが、1870年35歳の若さで病に倒れた。(190字)

問3.

食肉生産王国の鹿児島にあって超高級ブランド「かごしま黒豚」はエース的存在。パークシャー種で鼻先としっぽ、四本の足首が白いいわゆる「六白」が特徴だ。黒毛和種「黒牛」の出荷数は41年間全国1の座にある。

県外に広がった焼酎人気は根強い。黒麹を使った黒シリーズ、奄美の黒糖焼酎も新たなファンをつかんでいる。

福山の黒酢も健康食品ブームに乗った。米と麹、地下水だけで仕込む自然食品として人気が高まっている。(197字)

問4.

奄美大島は奄美地域最大の島で、「東洋のガラパゴス」とも呼ばれており、国の特別天然記念物のアマミノクロウサギ、県鳥のルリカケス、猛毒で知られるハブ、マングローブ原生林など貴重な動植物が多い。

産業面では、さとうきびと肉用牛や野菜等との複合経営による農業や、クロマグロなどの養殖業が盛んで、特産品としては大島紬や黒糖焼酎などがある。

また、奄美パークや黒潮の森マングローブパーク等の観光施設が整備されている。(200字)

問5

行程

訪問先



※最終訪問地から鹿児島空港までの移動手段・移動時間は問わない。

ポイント

本提案では、鹿児島の近代化産業遺産、現在の生産現場を訪問し、産業観光資源の宝庫・鹿児島県を実感していただく。磯仙巖園にある反射炉遺構や、台場と防波堤の機能を持った新波止の遺構などを視察いただき、近代日本の礎となった幕末薩摩の歴史の歩みを探訪する。

また、鹿児島の特産品である「大島紬」「芋焼酎」の生産現場を視察し、長年培われてきた伝統技術について学び、伝統技術の継承の重要性についてもご理解いただく。（199字）